



屋根工事 茅材の搬入

搬入状況



屋根工事 茅材の搬入

長野県開田高原産 山茅

12月7日納入 (650束)

12月23日納入 (650束)



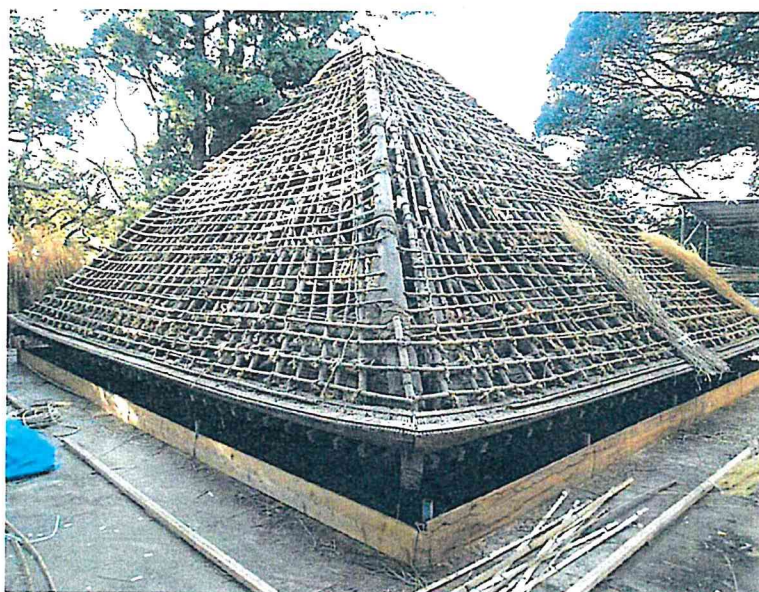
屋根工事 茅材の選り

鎌を使って枝葉を落として茅を
選る。



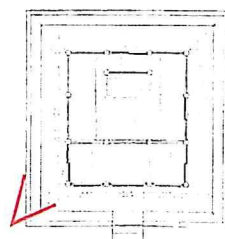
屋根工事 茅材の選り

一束 $\phi 180$ 程度 $\times$ $\ell 2,400$



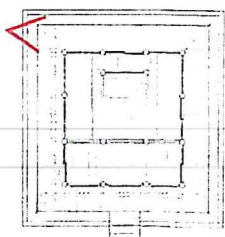
屋根工事 茅葺き解体状況

- ・裏甲上の篠竹は解体せず。
- ・屋根下地の垂木および屋中竹は健全であった。細締めゆるみがある箇所を締め直しを行った。



屋根工事 軒付け状況

1・2段目軒付け状況





屋根工事 軒付の押さえ方

修理前の軒付けの仕様

・1・2段目は各厚90mmにてユヅク竹※より鉄線で押銚竹と緊結。3段目は厚120mmで裏甲上の通し篠竹より鉄線で押銚竹と緊結。

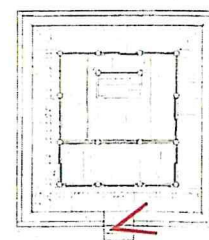
通し篠竹の再用により、藁縄では篠竹の隙間を通せないため、前仕様と同様に鉄線を使用することとした。

※「永福寺薬師堂修理工事報告書」S44挿図より



屋根工事 軒付け施工状況

3段目の軒付けの施工状況

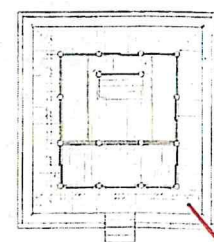


屋根工事 軒付け施工状況

杉皮葺き完了

杉皮葺きの押さえは、割竹（幅30mm程度）で挟み込んで銅線で縛る。

（前仕様と同様）

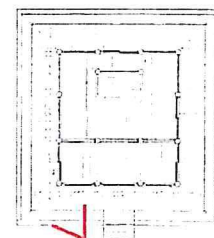




屋根工事 軒付け施工状況

杉皮上に茅に刺した竹で梃子状に押さえるようにして押鉾竹を取付ける。

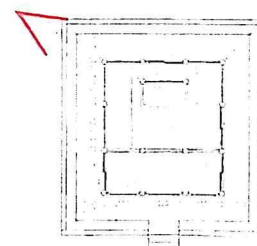
(前仕様と同様)



屋根工事 軒付け施工状況

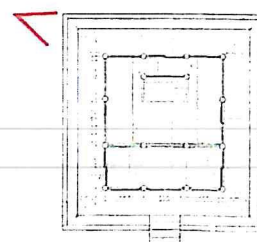
隅棟の軒付け施工状況

ガイドを付けた状況



屋根工事 軒付け施工状況

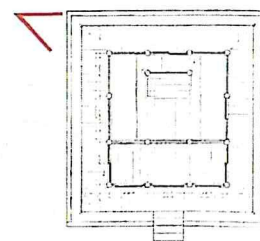
隅棟の施工状況





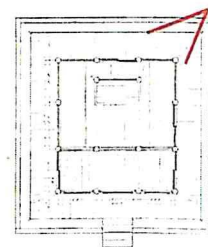
屋根工事 軒付け施工状況

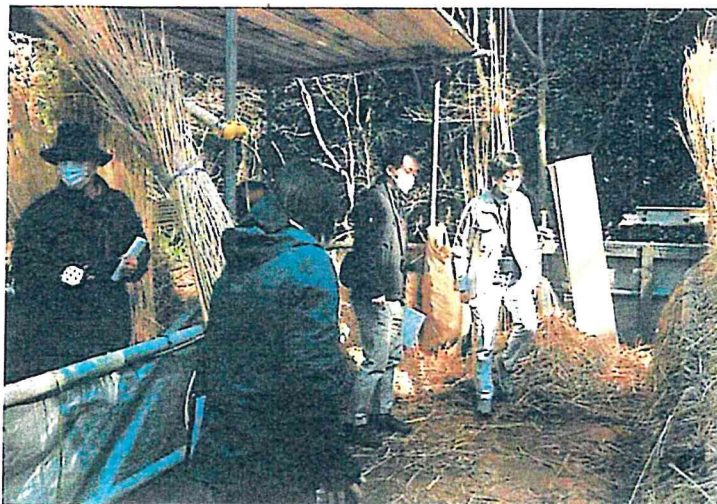
隅棟の施工状況



屋根工事 軒付け施工状況

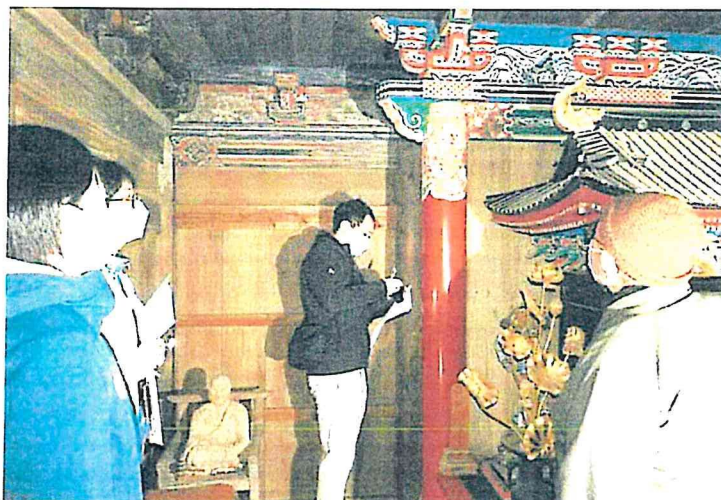
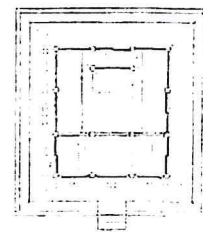
平の施工状況





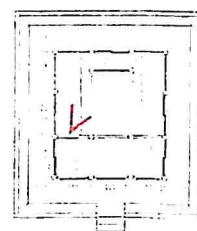
文化庁現地指導

石田調査官による現地指導
屋根工事の確認状況
(平葺きの施工中)



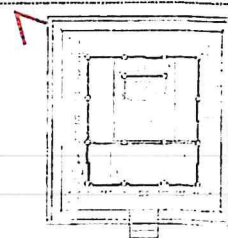
文化庁現地指導

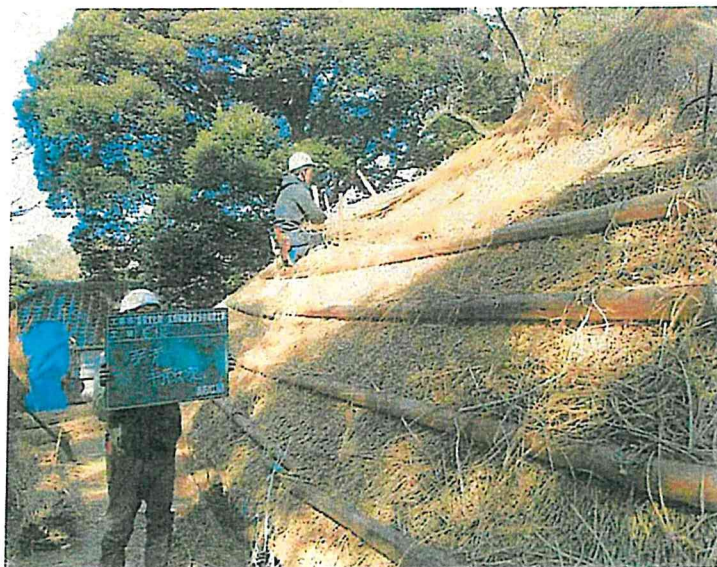
内部彩色の剥落状況確認



屋根工事 平葺き施工状況

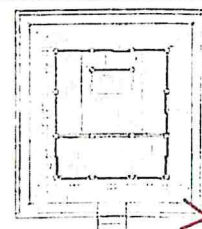
葺き始めのところ





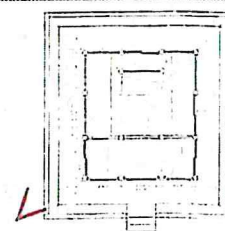
屋根工事 平葺き施工状況

中間地点



屋根工事 平葺き施工状況

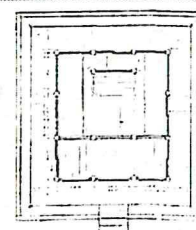
棟付近まで葺き上がった状況



屋根工事 棟造りの施工状況

簀枕は、銅線を巻き付けて成型し、

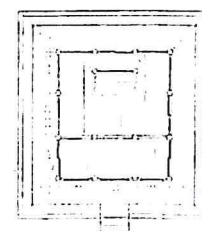
要所5か所を藁縄締めとした。





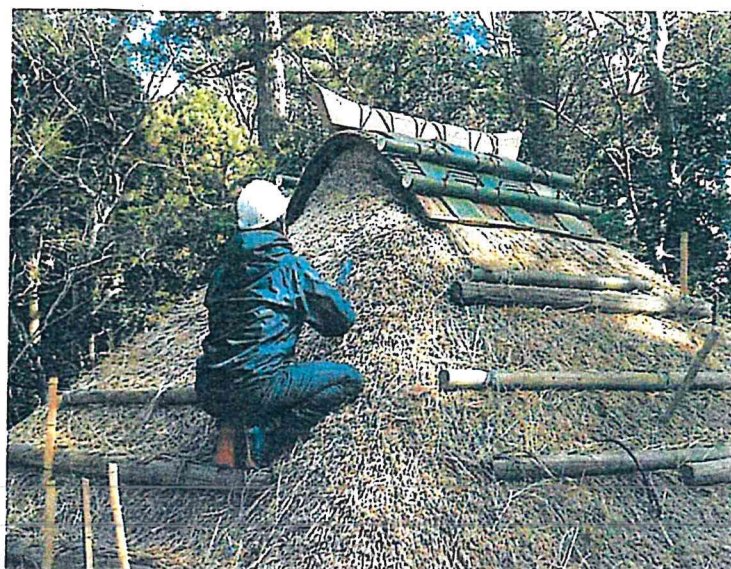
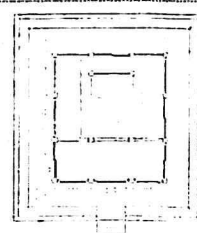
屋根工事 棟造りの施工状況

杉皮3枚重ねし、ぐし箕は2.5寸径竹を8割にした41本を編み、飾棟竹3列で押さえ、最上部は丸竹4本にて、屋根下地から出しておいた銅線で緊結した。



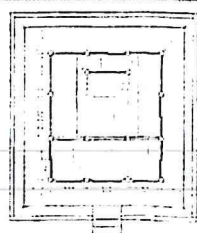
屋根工事 棟造りの施工状況

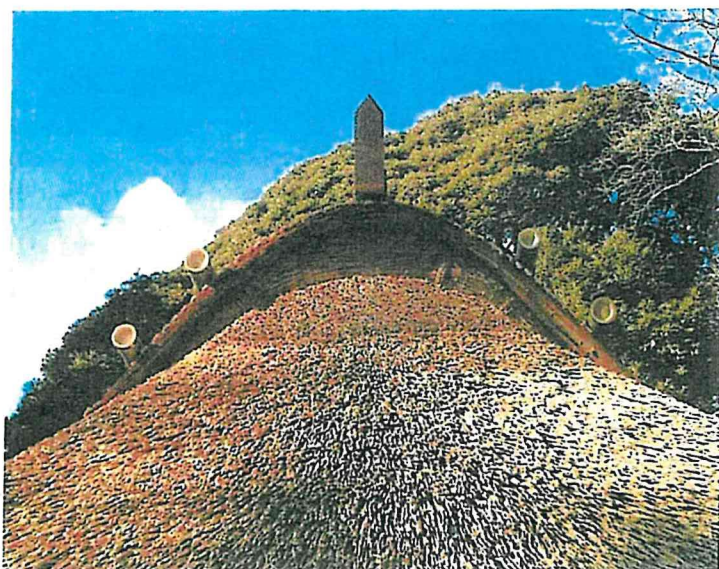
屋根下地から延びる銅線で緊結し、棕櫚縄で飾り縛りを行っている。



屋根工事 刈込み施工状況

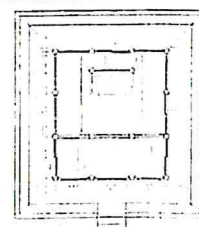
刈込みははじめの状況





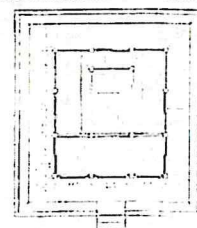
屋根工事 棟造り完了

棟造りの施工完了



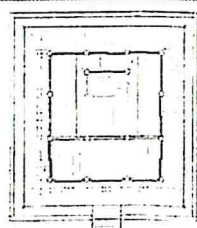
屋根工事 棟造り完了

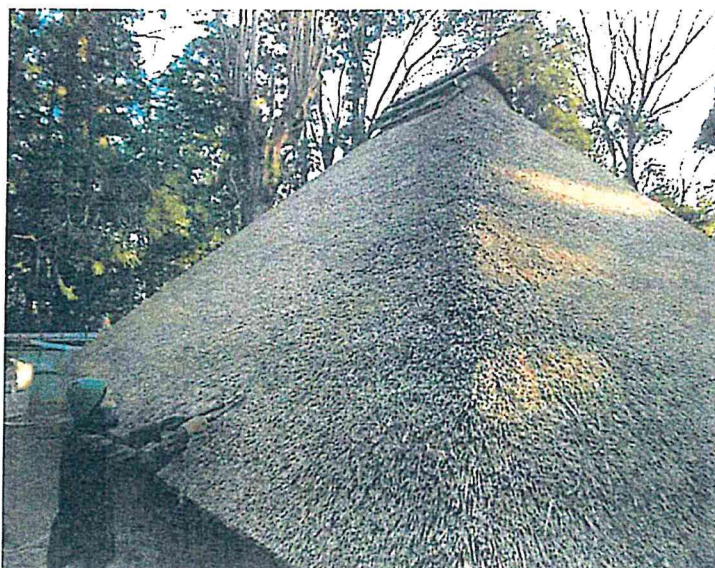
昭和28年修理時に倣い、修理前にはなかった堰茅を付けた。



屋根工事 刈込み施工状況

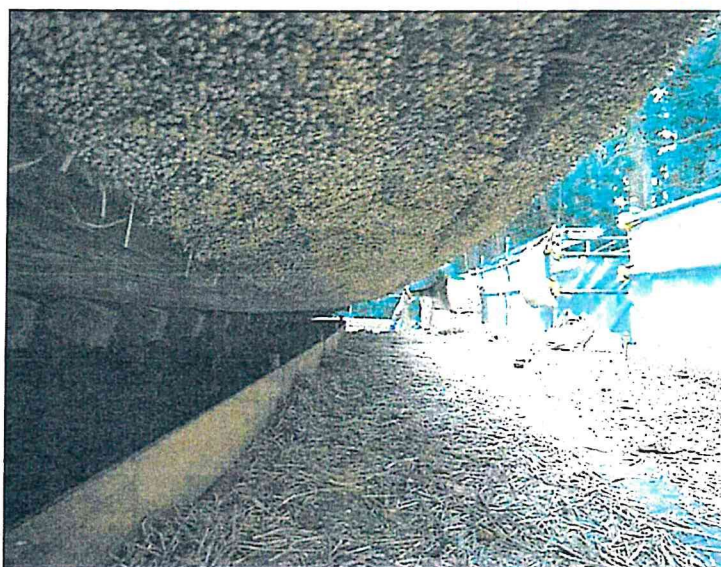
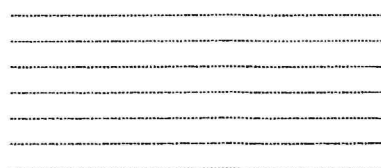
棟際から下へ、丸太足場を解体しながら刈込を進める。茅が不均等なところは、差茅をして隙間が無いように確認する。





屋根工事 刈込みの施工状況

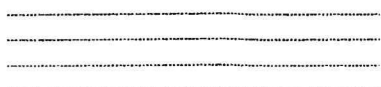
軒先まで刈込みをし、最後に軒反りのラインを整える。



屋根工事 刈込みの施工状況

軒付けの刈込み施工状況

修理前は軒が垂れて17/100（実測値）だったが、昭和28年完成時に倣い30/100にした。



屋根工事 小屋内防虫防腐処理

防腐剤は、主要成分がホウ酸のものを使用した。
メーカー製品説明には防虫防腐のほか、難燃性能もあるとのこと。

